

「(仮称) 障害がある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるシンポジウム」の開催について

1 目的

共生社会の実現に向けて、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例づくりを開始したことを広く市民に周知するとともに、条例制定の過程を共有し、市民の関心と幅広い理解を得るため、広く市民が参加できるシンポジウムを開催する。

2 概要

障害者週間に開催するウエルフェアの第1部の表彰、第2部のステージ発表の後、第3部として基調講演およびパネルディスカッションからなるシンポジウムを開催する。

3 日時

平成26年12月7日(日) 15時～17時00分

4 場所

福祉プラザふれあいホール

5 内容等

(1) 基調講演

「障害がある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える」

講演者

〇〇氏

(2) パネルディスカッション

国の障害を理由とする差別の解消を推進する法律の制定や、仙台市で独自条例制定の検討が開始されたことを踏まえ、仙台市が目指す共生社会の実現にむけて、「障害がある人もない人も暮らしやすいまち」とはどのようなまちなのか、その実現のために大切にしなければならないことは何かについてディスカッションする。

○ディスカッションのポイント

- ・先進地の取組みの中で、差別解消に必要な視点は何か。
- ・障害のある人の生きづらさを沢山の市民に知ってもらうには、どんな取組みが必要なのか。
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい仙台(まち)づくりを考える時に大切にしたい視点は何か。

○パネリスト予定者等

- ① コーディネーター：仙台市障害者施策推進協議会会長
- ② 基調講演者
- ③ 施策推進協議会委員（先進地視察等の報告）
- ④ 当事者委員 2～3名
- ⑤ 市内相談支援事業所相談員
- ⑥ 地域団体関係者（民生委員等）

※各パネラーからの発表内容について

- ・講演、先進地報告に対する感想
- ・私の考える暮らしやすい仙台（まち）とは
- ・暮らしやすい仙台への取り組みで大切にしたいこと